

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	マロニエファッションデザイン専門学校
設置者名	学校法人マロニエ文化学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
服飾専門課程	ファッションクリエイション学科（2年制）	夜・通信	195	160	
	ファッションクリエイション学科（3年制）	夜・通信	357	240	
服飾専門課程	ファッションビジネス学科（2年制）	夜・通信	237	160	
	ファッションビジネス学科（3年制）	夜・通信	297	240	
服飾専門課程	ファッションマスター学科（4年制）	夜・通信	402	320	
		夜・通信			
（備考）					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://maronie.ac.jp/wp-content/themes/marronnier/img/info/pdf/practice_list.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	マロニエファッションデザイン専門学校
設置者名	学校法人マロニエ文化学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人マロニエ文化学園 事務室にて保管・閲覧可

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社取締役 (2009. 4. 1～)	2020. 3. 28 ～ 2024. 3. 27	経理・財務等への指 導・助言
非常勤	弁護士 (2003. 4. 1～)	2019. 7. 26 ～ 2023. 7. 25	コンプライアンス への指導・助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	マロニエファッションデザイン専門学校
設置者名	学校法人マロニエ文化学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
・各学科のカリキュラムは、毎年、教育課程編成委員会の意見等を参考にして学科長会議で審議し、カリキュラム構成を決定する。それに基づき、各科目における担当者が授業計画書(シラバス)を作成し、学科長が点検、年度末は教務部が集約する。 ・新学期の始業時に各クラス担任より授業計画書(シラバス)を発表する。またホームページで公表する。 ・成績評価の方法と基準は、授業科目の評価をA・B・C・D・Eの5段階で評定し、出席評価を踏まえた上で最終に諸条件(授業態度等)を考慮して総合評価とする。	
授業計画書の公表方法	https://maronie.ac.jp/info/public_info/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
学科で定められた授業時間の講義・演習および実習に出席し、試験を受験、レポート・作品や成果物提出が各科目にて要件を満たした者に対して、学期末に成績評価を与える。 成績評価は学期末に総合的に判定し、要素として出席状況・履修態度・試験・課題提出・作品成果をもって審査する。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) GPA等の指標の設定はない。大学のように単位制ではなく時間制である事由である。 ▶ (成績評価) 以下のAからEまでの5段階評価である。 ・A (100～90点) : (合格) 非常に良いレベルである。 ・B (89～80点) : (合格) 良い部類に入るレベルに達している。 ・C (79～60点) : (合格) 課題としてのレベルに達している。 ・D (59～55点) : (その他諸条件による) 課題提出したが結果として不合格。 ・E (54～0点) : (不合格) 課題提出していないので評価できない。 ▶ (出席評価) ・A : 100%出席 ・B : 90%以上 ・C : 80%以上 ・D : 60%以上 ・E : 60%未満 ▶ 総合評価 成績評価・出席評価を踏まえた上、最終に諸条件(授業態度等)を考慮し総合評価とする。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://maronie.ac.jp/info/public_info/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 履修規定に従い、在学期間に定められた科目の授業日数を修得することにより、出席日数を満たし、課題を提出し、試験に合格することにより卒業が認定される。 また、各学科には卒業制作展での制作発表が必要である。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://maronie.ac.jp/info/public_info/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	マロニエファッションデザイン専門学校
設置者名	学校法人マロニエ文化学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://maronie.ac.jp/info/public_info/
収支計算書又は損益計算書	https://maronie.ac.jp/info/public_info/
財産目録	マロニエ文化学園事務室にて保管・閲覧可
事業報告書	マロニエ文化学園事務室にて保管・閲覧可
監事による監査報告（書）	マロニエ文化学園事務室にて保管・閲覧可

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
服飾家政		専門課程		ファッションクリエイション学科（2年制）		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
	講義			演習	実習	実験	実技		
2 年	昼	2040 単位時間／単位		445 単位時間 ／単位	87 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	1508 単位時間 ／単位	
				単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
40 人		0 人	0 人	1 人		3 人		4 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）個性やセンスを見つけ、磨き上げ、ファッションをつくるプロフェッショナルな人材育成を目的とする。2年間で服作りの基本からファッションビジネスに関することまで、現場で求められる様々なスキルを習得する。
成績評価の基準・方法
（概要）授業科目の評価をA・B・C・D・Eの5段階で評定し、出席評価を踏まえた上で最終に諸条件（授業態度等）を考慮して総合評価とする。
卒業・進級の認定基準
（概要）在学期間に定められた科目の授業日数を修得することにより、出席日数を満たし、課題を提出し、試験に合格することにより卒業が認定される。
学修支援等
（概要）企業共催による合同説明会の実施と、就職部とクラス担任の連携により、個別の成熟度に合わせた就職面談と指導。各種検定取得に向けた特別講義の実施。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (100%)	0 人 (%)	0 人 (%)	0 人 (%)
（主な就職、業界等） アパレル企業のデザイン・技術生産職、流通小売業の企画・販売職、スタイリスト 事務所 等			
（（就職指導内容） 年数回、企業共催による合同説明会の開催、専任スタッフによる就職情報提供および、 個々の学生に合わせた適切な書類作成、面接指導を随時実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 洋裁技術検定、パターンメイキング技術検定、繊維製品品質管理士、色彩検定 等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0 %
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担任による密な個別指導と家庭との連携を実施。上級教員による個別面談および カウンセリング対応。学校独自の奨学金制度による経済的支援。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾家政		専門課程	ファッションクリエイション学科（3年制）	○	－		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2700 単位時間／単位	589 単位時間 ／単位	115 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	1906 単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		74 人	0 人	5 人	6 人	11 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要） 個性やセンスを見つけ、磨き上げ、ファッションをつくるプロフェッショナルな人材育成を目的とする。既製の作り方からオーダーメイドの細やかな手作業や縫製技術を、また企画提案までの幅広い知識を習得する。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業科目の評価を A・B・C・D・E の 5 段階で評定し、出席評価を踏まえた上で最終に諸条件（授業態度等）を考慮して総合評価とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 在学期間に定められた科目の授業日数を修得することにより、出席日数を満たし、課題を提出し、試験に合格することにより卒業が認定される。
学修支援等
（概要） 企業共催による合同説明会の実施と、就職部とクラス担任の連携により、個別の成熟度に合わせた就職面談と指導。各種検定取得に向けた特別講義の実施。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
37 人 (100%)	0 人 (0 %)	37 人 (100%)	0 人 (0 %)
（主な就職、業界等） アパレル企業のデザイン・技術生産職、流通小売業の企画・販売職、スタイリスト事務所 等			
（就職指導内容） 年数回、企業共催による合同説明会の開催、専任スタッフによる就職情報提供および、個々の学生に合わせた適切な書類作成、面接指導を随時実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 洋裁技術検定、パターンメイキング技術検定、繊維製品品質管理士、色彩検定 等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
98 人	19 人	19.4 %
（中途退学の主な理由） 進路変更、学費に関わる家庭事情、健康上の理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担任による密な個別指導と家庭との連携を実施。上級教員による個別面談およびカウンセリング対応。学校独自の奨学金制度による経済的支援。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾家政		専門課程	ファッションビジネス学科（2年制）	○	－		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800 単位時間／単位	392 単位時間 ／単位	78 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	1270 単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		16人	0人	2人	6人	8人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）個性やセンスを見つけ、磨き上げ、ファッションを提案できるプロフェッショナルな人材育成を目的とする。ショップ店員・ストアマネジャー・スタイリストのプロとして、企画提案までビジネスの幅広い知識を習得する。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業科目の評価をA・B・C・D・Eの5段階で評定し、出席評価を踏まえた上で最終に諸条件（授業態度等）を考慮して総合評価とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 在学期間に定められた科目の授業日数を修得することにより、出席日数を満たし、課題を提出し、試験に合格することにより卒業が認定される。
学修支援等
（概要） 企業共催による合同説明会の実施と、就職部とクラス担任の連携により、個別の成熟度に合わせた就職面談と指導。各種検定取得に向けた特別講義の実施。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5人 (100%)	0人 (%)	4人 (80%)	1人 (20%)
（主な就職、業界等） アパレル企業のデザイン・技術生産職、流通小売業の企画・販売職、スタイリスト事務所等			
（就職指導内容） 年数回、企業共催による合同説明会の開催、専任スタッフによる就職情報提供および、個々の学生に合わせた適切な書類作成、面接指導を随時実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ファッションビジネス能力検定、ファッション販売能力検定、色彩検定、販売士等			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14 人	1 人	7.1 %
(中途退学の主な理由) 健康上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による密な個別指導と家庭との連携を実施。上級教員による個別面談およびカウンセリング対応。学校独自の奨学金制度による経済的支援。		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
服飾家政		専門課程	ファッションビジネス学 科（3年制）		○		－	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼	2700 単位時間／単位	589 単位時間 ／単位	115 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	1906 単位時間 ／単位	
			単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
60 人		24 人	0 人	2 人	6 人		8 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 個性やセンスを見つけ、磨き上げ、ファッションを提案できるプロフェッショナルな人材育成を目的とする。ショップ店員・ストアマネジャー・スタイリストのプロとして、企画提案までビジネスの幅広い知識を習得する。
成績評価の基準・方法
(概要) 授業科目の評価を A・B・C・D・E の 5 段階で評定し、出席評価を踏まえた上で最終に諸条件 (授業態度等) を考慮して総合評価とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 在学期間に定められた科目の授業日数を修得することにより、出席日数を満たし、課題を提出し、試験に合格することにより卒業が認定される。
学修支援等
(概要) 企業共催による合同説明会の実施と、就職部とクラス担任の連携により、個別の成熟度に合わせた就職面談と指導。各種検定取得に向けた特別講義の実施。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8 人 (100%)	0 人 () (%)	8 人 (100%)	0 人 () (%)
（主な就職、業界等） アパレル企業のデザイン・技術生産職、流通小売業の企画・販売職、スタイリスト事務所 等			
（就職指導内容） 年数回、企業共催による合同説明会の開催、専任スタッフによる就職情報提供および、個々の学生に合わせた適切な書類作成、面接指導を随時実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ファッションビジネス能力検定、ファッション販売能力検定、色彩検定、販売士 等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28 人	4 人	14.3 %
（中途退学の主な理由） 進路変更、学費に関わる家庭事情		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担任による密な個別指導と家庭との連携を実施。上級教員による個別面談およびカウンセリング対応。学校独自の奨学金制度による経済的支援。		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
服飾家政		専門課程	ファッションマスター学科（４年制）	－		○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
４年	昼	3600 単位時間／単位	786 単位時間 ／単位	154 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	2540 単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		12 人	0 人	1 人	6 人	7 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要） 個性やセンスを見つけ、磨き上げ、ファッションをつくるプロフェッショナルな人材育成を目的とする。既製の作り方からオーダーメイドの細やかな手作業や縫製技術、また企画提案までのスペシャリストとして幅広い知識を習得する。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業科目の評価を A・B・C・D・E の 5 段階で評定し、出席評価を踏まえた上で最終に諸条件（授業態度等）を考慮して総合評価とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 在学期間に定められた科目の授業日数を修得することにより、出席日数を満たし、課題を提出し、試験に合格することにより卒業が認定される。
学修支援等
（概要） 企業共催による合同説明会の実施と、就職部とクラス担任の連携により、個別の成熟度に合わせた就職面談と指導。各種検定取得に向けた特別講義の実施。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8 人 (100%)	0 人 (0 %)	8 人 (100%)	0 人 (0 %)
（主な就職、業界等） アパレル企業のデザイン・技術生産職、流通小売業の企画・販売職、スタイリスト事務所 等			
（就職指導内容） 年数回、企業共催による合同説明会の開催、専任スタッフによる就職情報提供および、個々の学生に合わせた適切な書類作成、面接指導を随時実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ファッションビジネス能力検定、ファッション販売能力検定、色彩検定、販売士 等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20 人	5 人	25.0 %
（中途退学の主な理由） 進路変更、学業不振、健康上の理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担任による密な個別指導と家庭との連携を実施。上級教員による個別面談およびカウンセリング対応。学校独自の奨学金制度による経済的支援。		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
ファッションクリエイション学科（2年制）	200,000 円	740,000 円	280,000 円	
ファッションクリエイション学科（3年制）	200,000 円	740,000 円	280,000 円	
ファッションビジネス学科（2年制）	200,000 円	740,000 円	280,000 円	
ファッションビジネス学科（3年制）	200,000 円	740,000 円	280,000 円	
ファッションマスター学科（4年制）	200,000 円	740,000 円	280,000 円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://maronie.ac.jp/info/public_info/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制） 卒業生・関連分野企業・学校関係有識者等と共に、学校運営の改善に向けての意見を頂き、学校自己評価に取り組むことにより、学校運営の成果と課題を教職員と共有し、組織の活性化および学校運営の改善に努める。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社 M. C. Innovation 代表取締役 伊藤隆	2022. 3. 28～2024. 3. 27 (2 年任期更新)	企業関係者・卒業生
株式会社 U. W. C 代表取締役 稲田大	2022. 3. 28～2024. 3. 27 (2 年任期更新)	企業関係者・卒業生
一般社団法人インターナショナルアーティスト支援協会理事長 長川勝勇	2022. 3. 28～2024. 3. 27 (2 年任期更新)	業界団体
有限会社かほり堂 代表取締役 立命館大学客員教授 山口俊介	2022. 3. 28～2024. 3. 27 (2 年任期更新)	学校関係有識者
学校関係者評価結果の公表方法		

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://maronie.ac.jp/info/public_info/
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校ホームページ https://maronie.ac.jp/ 学校パンフレット ホームページ・電話等で資料請求

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H127310000102
学校名	マロニエファッションデザイン専門学校
設置者名	学校法人マロニエ文化学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		26人	24人	29人
内 訳	第Ⅰ区分	16人	17人	
	第Ⅱ区分	－	－	
	第Ⅲ区分	－	－	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				29人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（1）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	－
----	---

（2）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下）	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

（3）退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
G P A等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。